

au

## 開閉センサー 01 (USC01A)

### 取扱説明書



このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本製品はZ-Wave®対応の開閉センサーです。

#### 本製品のご使用には、au HOME アプリおよびゲートウェイの登録が必要です。

- スマートフォンにau HOME アプリをインストールする必要があります。
- au HOME アプリのインストール、ゲートウェイの登録方法、本製品の登録方法などについては、「au HOME 接続ガイド」を参照してください。

## 同梱物

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

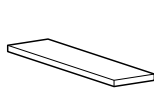
- 本書に記載されているイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。



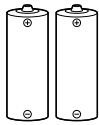
本体



薄型マグネット  
(両面テープ付き)



両面テープ  
大1枚  
(本体用)



単4アルカリ電池  
x 2本  
(試供品)



取扱説明書  
(本書)

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

### ■表示の説明

	この表示は「人が死亡または重傷 <sup>*1</sup> を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷 <sup>*1</sup> を負うことが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が傷害 <sup>*2</sup> を負うことが想定される内容や物的損害 <sup>*3</sup> の発生が想定される内容」を示しています。

- ※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 傷害: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

### ■図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。

### <免責事項について>

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※ 本書で表す「当社」とは以下の企業を指します。  
発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)  
輸入元: 加賀電子株式会社

⚠ 危険	
	必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。
	必ず指定の機器をご使用ください。指定の機器以外を使用した場合、発熱・発火・感電・破裂・故障・漏液の原因となります。対応機種については、「KDDIお客様センター」へお問い合わせください。
	高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
	お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や指定の機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。
	液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
	釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。
	水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には使用を中止してください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

⚠ 警告	
必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。	
	落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
	乳幼児の手が届く場所には置かないでください。舐めたり、小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。
	ペットが噛みつかないようにご注意ください。漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
	極端に高温や低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。
	使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。
	落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。発火・破裂・発熱・漏液の原因となります。
	異臭、発熱、変色、変形など、いままどと異なるときは、使用しないでください。液漏れや異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。
	使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。
	ペースメーカー等の産業・科学・医療機器の近くでは、使用しないでください。電波により医療機の動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意	
必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。	
	床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。
	皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
	アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤などをかけないでください。塗装や印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。

## 取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- 水をかけないでください。
- 本製品は防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気が多い場所や、雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は通信データを記憶するメモリ機能は有しておりません。あらかじめご了承ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなどで拭いてください。また、アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤などで拭かないでください。塗装や印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。なお、拭き取れない場合でも、こするように強く拭かないでください。)
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- 落下による変形や傷など外部からの衝撃により本製品に異常が見られた場合は、「KDDIお客様センター」まで、お問い合わせください。
- 使用状態などによって異なりますが、新しい電池に交換しても使用時間が極端に短くなったときは本製品の交換時期です。
- お客様のご使用状況・環境などにより、変色または変質する場合があります。
- 本製品を加熱したり、火気に近づけたりしないでください。使用状況・環境などにより、変色する場合があります。また、使用状況により、本製品の色が接触したものに色移りする場合があります。
- センサー部にシールを貼ったり、覆ったりしないでください。正しく感知できなくなります。
- 本製品を改造することは電波法で禁止されています。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品本体の銘板シールに表示されています。本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 電波干渉による他の機器への影響や不適合を避けるため、機器の電源を切るよう指示のある場所では本製品をご使用にならないでください。(例: 航空機内、軍用基地、病院などの医療施設)

## 本製品の使用材質

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

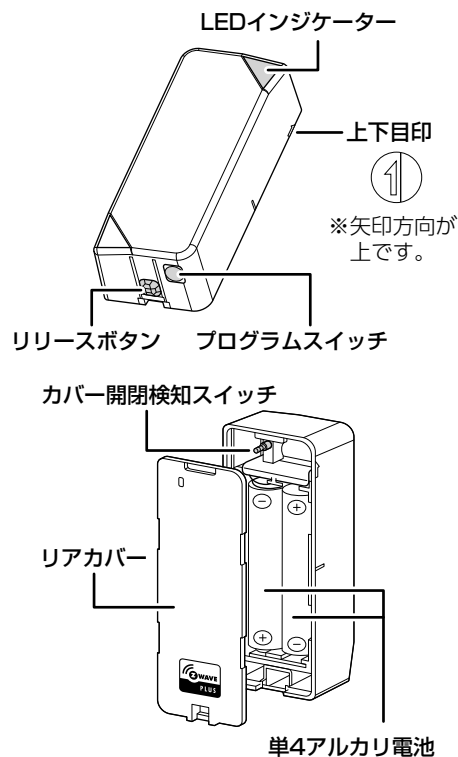
### ■本体

使用箇所	使用材質	表面処理
本体部	ABS	—
プログラムスイッチ	シリコン	—
カバー開閉感知スイッチ	LCP	—
電池端子	ステンレス鋼材	ニッケルメッキ

### ■付属品

使用箇所	使用材質	表面処理
両面テープ	基材: アクリルフォーム	粘着剤: アクリル系粘着剤
薄型マグネット	フェライト	—

## 各部の名称



## 設置前の準備

### ■ 電池を入れる

- 1 本体のリリースボタンを押しながらリアカバーを引き上げます。
- 2 単4アルカリ電池2本を入れます。「各部の名称」の図を参考に、電池の+-の向きを正しく入れてください。
- 3 リアカバーを閉じます。リアカバーの上部を本体上部のツメに引っ掛け、リアカバーの下部を「パチン」と音がするまで押し込みます。

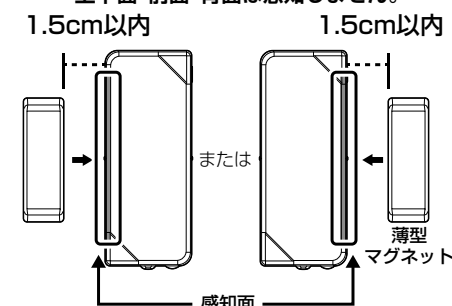
### ■ デバイスを登録する

- 1 au HOME アプリを起動し、デバイスを登録できる状態にします。詳しくは『au HOME 接続ガイド』をお読みください。
- 2 ゲートウェイから1m以内の距離でプログラムスイッチを1回押します。
  - ・LEDインジケータが点滅し、登録が完了するとLEDインジケータが消灯します。
  - ・登録できなかった場合は20秒後にLEDインジケータが消灯します。※すでに登録されている場合はLEDインジケータは点滅しません。
- 3 au HOME アプリでデバイスの登録が完了したことを確認してください。※登録できなかった場合は、手順1からやり直してください。
- 4 au HOME アプリで動作確認を行います。詳しくは、『au HOME 接続ガイド』をお読みください。

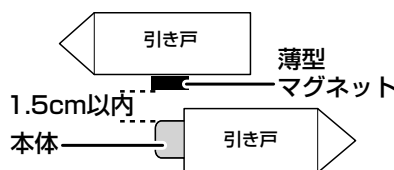
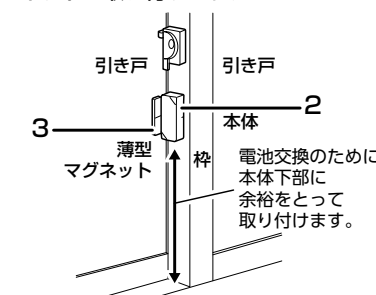
## 設置のしかた

引き戸で開閉を感知してお使いになる場合を例に説明します。

注意: 本体の側面のみが感知します。上下面・前面・背面は感知しません。



- 1 本体を取り付ける位置で、au HOME アプリで動作確認を行います。詳しくは、『au HOME 接続ガイド』をお読みください。
- 2 付属の両面テープをリアカバーに貼り付け、取り付ける位置に本体を固定します。
- 3 本体から1.5cm以内の場所に、薄型マグネットを取り付けます。



- 4 au HOME アプリで動作確認を行います。詳しくは、『au HOME 接続ガイド』をお読みください。

## センサーの感知内容

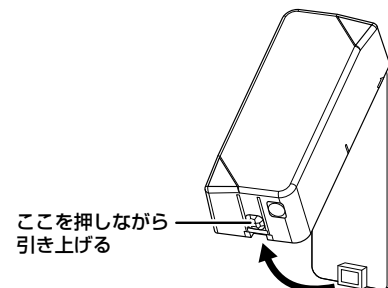
次の情報を感知します。

- ・本製品を取り付けた場所の開閉

## 電池を交換する

次の手順で交換すると、リアカバーを柱や枠などから取り外さずに電池を交換することができます。

- 1 リリースボタンを押しながら、本体を斜め上に引き上げます。リリースボタンが手で押しづらいときは、太目の硬い棒などで押しください。



- 2 単4アルカリ電池2本を取り外します。
- 3 新品の単4アルカリ電池2本を入れます。「各部の名称」の図を参考に、電池の+-の向きを正しく入れてください。
- 4 本体をリアカバーに取り付けます。本体上部のツメをリアカバーに引っ掛け、本体下部を「パチン」と音がするまで押し込みます。

## 初期化する

本製品が正常に動作しなくなった場合は、出荷時の状態に初期化してください。初期化の方法を説明します。

- 1 リリースボタンを押しながらリアカバーを引き上げます。LEDインジケータが点灯します。
- 2 LEDインジケータが点灯している間(10秒)に本体を薄型マグネットに5回近づけてください。初期化に成功するとLEDインジケータが6回点滅します。
- 3 リアカバーを閉じます。リアカバーの上部を本体上部のツメに引っ掛け、リアカバーの下部を「パチン」と音がするまで押し込みます。

※LEDインジケータが点滅しなかった場合は、手順1からやり直してください。

※初期化が成功したあと、au HOME アプリでデバイスの削除、再登録が必要です。デバイスの削除はau HOME アプリの設定画面から、デバイスの再登録は「設置前の準備」をご参照ください。

## 本製品を取り付けなおすとき

両面テープが取り付け面に残ったり、壁紙をいためたりしないよう、注意して取り外してください。また、両面テープは再利用できません。新しく、市販の両面テープを貼りなおしてください。

## 仕様

通信方式	Z-Wave®(ZM5202)
対応周波数	922~926MHz(日本)
通信距離	約30m(見通し)
動作温度範囲	-10℃~60℃ (湿度:10%~90%)
外形寸法	約 W 26 mm×H 70 mm× D 19 mm
本体質量	約23g
電池	単4アルカリ電池2本

○仕様および外観は、性能改良のため予告なく変更することがあります。

## 故障とお考えになる前に

扉が開閉したのにLEDインジケータが光らない。

- ・本製品を取り付けた場所に、設置した時から変化はありませんか？
  - ➔ 本体と薄型マグネットの取り付け状態を確認してください。

LEDインジケータが点滅しない。

- ・電池が消耗していませんか？
  - ➔ 新品の単4アルカリ電池に交換してください。
  - ➔ 同梱の電池は試供品のため、寿命が短い場合があります。
- ・電池が逆挿入になっていませんか？
  - ➔ ラベルに記載の正しい+-の向きに挿入してください。

※その他、不具合があった場合は本書の「初期化する」の手順で、初期化を行ってください。

## お問い合わせ先

製品に関することは、以下にお問い合わせください。

KDDIお客さまセンター  
0120-925-629 (無料)  
受付時間:9:00~20:00(土日 / 祝日も受付)

## 商標について

Z-Wave®は、米国および他の国でSigma Designsと子会社の登録商標です。

## 保証について

別添の保証書をご覧ください。保証書は大切に保管してください。紛失した場合、保証書の再発行はできません。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)  
輸入元:加賀電子株式会社  
2017年6月 第1版